

会長の
ひとりごと
【住宅】

Vol.253 2023 3月

『デザイン・性能』良くて当たり前住宅

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』

くぼかわよしみち.com

検索



毎月
20日
更新!!

スマイシアHD株式会社 代表取締役会長
アサヒグローバルホーム(株) 取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長

文/久保川 議道

text:Yoshimichi Kubokawa



私が住宅建築を始めた30年前は、住宅業界は『クレーム産業』だと言われていました。ですから性能を良くして、施工をしっかりと行って、現場周辺の皆様にもご迷惑をかけないように一生懸命に努力しました。その後は住宅の保証制度(地盤保証・瑕疵保証)や耐震性能(制震・免震・耐震)がもの凄く良くなって安心安全な住宅になりましたから、もうクレーム産業ではなくなりました。

そして今では『デザイン』が良くなって、キッチンや洗濯乾燥室やファミリークローゼットや玄関土間収納などの『機能』や『使いやすさ』や『家事動線』が革命的に良くなった住宅がつけられるようになっていきます。もう5年前では考えられなかったほどに『住宅づくり』は進歩しています。もう住宅はデザイン良くて当たり前、性能機能使いやすい良くて当たり前前の時代になつてしまいました。

大変に良いことばかりなのですが、私にとつては苦痛というか苦しみというか…ではこれから5年先10年先の住宅とはどんな住宅になっていけばいいのか。それがずっと分からなくて人知れず悩んでいて深い苦しみの中にいました(少し大袈裟ですが…)。

しかし考えて考えてやっとわかったこ

とが3つありました。それは①やはり住宅というものは『住むため』『生活するため』にあるのだということです。これは既に住宅を建てていただいたユーザーの奥様達に集まっていたいてお話を聞いて分かりました。家を建てる前に思っていたことと、家を建ててから分かったことは全く違っていったのです。やはり家は建てて住んでみないと良い悪いは分からないものです。建てる前にこうしたいと考えていたことの半分以上はどうでもいいことだった。もっと大切なことがあることが分かった。住んでみてこうしたい、こうしたかったと奥様達は言われています。ですから私(アサヒグローバルホーム)のこれからの住宅づくりは、建てる前のことよりも、建ててからの快適で住みやすい住宅づくりに主軸を移したいと決定しました。

次に②は日本の住宅は性能が良くなったと言っても、まだまだ北欧の住宅の『断熱性能』の基準と比べてもずっと低いのです。そして本当に日本の住宅は諸外国と同じように『1.0.0.年耐用』で100年以上使えるのでしょうか。はつきり言つて今の日本の住宅の耐用年数は『27.年』だというデータがあります。(これは少し古いデータなので、今は40年くらいは使えるでしょう)しかしア

メリカ(103年)フランス(86年)ドイツ(79年)イギリス(141年)の平均耐用年数と比べると明らかに低いのです。ですからこれからの私の住宅づくりはこの世界標準の性能と世界標準の耐用年数と同じではなく、それを越えるような住宅をつくることに主軸を移したいと決定しました。

そして第③番目は、世界標準の高額住宅にも挑戦しますが、日本・安く建てられる住宅もつくりたいと思います。住宅は快適に住むため生活するためのものですから、値段が高いか安いとかは関係ありませんね。20歳代の若い人達にも住宅を建ててもらいたいし、日本の個人所得はずっと上がつていませから(世界で第23位)少ない予算でも建てていただきたい。そしてそんなに大きな家は必要ないと私は考えています。そのかわりに子供たちが成長して夫婦二人で高齢者になっても住みやすい住宅の夫婦の寝室は1階にあるのがいいのです。私は凄く使いやすい将来も考えた、そんな住宅の設計が楽しくて、今頑張っています。

さて、この3つの新しいコンセプトの住宅をこれからはつくりたいです。5月には完成して皆様に見ていただけますので、ご期待ください。

わくわく!! 夢ニュース

【住宅】

住み心地を第一優先に考えた家づくり Vol. 253

2023

3

March

ニュアンスカラーがつくる
素肌に心地よいお家

